第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊
九月二日（日）

氣遣はれた二百十日
全國的に平穩
農民達やつと安心

【東京國通】一日は厄日二百十日、今年は天候不順で全國の農家ではせめて二百十日だけでも荒れぬ樣にと僥倖を祈つて居たが中央氣象臺では大丈夫全國的に雨だが颱風や暴風雨の心配はない天氣は當分愚圖つくがこの分では二百十日は大丈夫だと太鼓判を押した氣懸りの颱風は卵位の小さいのが南洋の空で待機の姿勢にあるが大して心配はない低氣壓は今朝九州、四國を通じて松山の南から大阪方面へ進んで居るが幸なことに高氣壓が北海道から東北地方の海岸を涵つて東の海上に南下して低氣壓を喰ひ止めやうとして居る、氣溫も卅一日から急に秋らしく下つて大体平年より三、四度は低い、かくて今年の二百十日は極めて平穩で颱風の心配は今のところ全くない

七月末現在
主要都市物價指數

實務院統計處調査の七月三十一日現在における新京外六都市の小賣物價は前月に比し穀類一二一、二蔬菜一一九、二魚類及肉類一〇〇、七其他食料品一一一、〇調味嗜好品一〇一、五衣料及鞋類一〇二、一燈火燃料一〇一、八の指數を示し即ち全品目に亘つて騰勢を示し

之を大同三年一月五日調査に依る物價を基準として見る時は穀類一二四、二蔬菜七六、九魚類及肉類八六、六其他食料品一〇四、二調味嗜好品九八、六衣料及鞋類九九、六燈火燃料一〇〇、二總物價一〇〇、三で即ち穀類は昂騰し、其の他食料品、燈火燃料、衣料及鞋類等は大差なく、蔬菜並に魚類及肉類は低落を示してゐる

滿鐵建設事務所
白城子

【チチハル國通】チチハル滿鐵建設事務所は今回兆索線工事のため白城子に移轉する事となり、靑木所長以下所員四百名は卅一日午後七時四十分特別列車を仕立てゝ白城子に向つた

滿鐵傍系會社
評價委員
會組織

滿鐵傍系會社中近く解放されるゝ諸會社の解放委員は三十日午前十時から開催され各會社の解放具体案を審議し正午解散したが解放會社にして株式の市場價格なきものにつきその評價頗る困難なので右委員會とは別項に評價委員會を組織し評價することになる模樣であるが解放會社の評價は同會社の將來に重大なる影響を及ぼすものであり委員會で

は特に愼重なる態度を持して萬全を期してゐる

大陸科學研究院
官制草案脫稿

大河內子の來滿以來急速に活氣を呈し來つた大陸科學研究院準備事務はその後着々進捗し、產婆役たる同子を中心として委員會が過般開催されて以來氏は同研究院官制案の起草に着手し、之が脫稿を急いで居たが、此程完成したので近く再び委員會を開催、右草案の審議を行ふこととなつた尙氏は在滿期初より二日一旦內地へ歸省する豫定であつたが事務の都合上今暫く延期滯京することとなつた

生保遊資投資時代
有價證券に盛に投資
全資產の五十六％に上る

生命保險會社協會調査本年上期末現在の內國生命保險會社三十二社の運用資產狀態は左の如く、總計は前期末に比して七千九百十四萬八千圓增加の二十億八千五百六十五萬圓となつたがその運用に低金利進展を如實に反映して銀行信託會社と同樣に貸付金の減少有價證券の增加の傾向を辿つてゐる即ち貸付金は昭和八年六月末以來每期減少の一途を辿り六月末は前期末に比して二千九百六十五萬三千圓を減少五億三千五百六十二萬五千圓となり其の全資產中に占むる割合に前期末の二十八％十七から二十五％六十八に減少し前年同期の三十％三十九に比すれば實に四％七十一を減少してゐる

一方有價證券は昭和六年六月末以來每期增加してゐるが、その增加額は今年上期中最も著しく、一億七千八萬七千圓となり其の全運用資產中に占むる割合は前期の五十二％七十四から五十六％十二と三％と三十八增加した

（單位千圓　△印比較減）

	本年六月末	前年六月末比較
預金	二六四、〇一八	一六、六〇七
貸付金	五三五、六二五	△二六、〇九八
有價證券	一一七〇、〇八七	一二三、八五五
不動產	一一五、九一八	五、六二八
合計	二、〇八五、六五〇	一九七、九二二

◇各期末運轉資產種類別割合【萬％印】

	本年六月末	八年六月末
預金	一二、六六	一三、二一
貸付金	二五、六八	三〇、三九
有價證券	五六、一二	五〇、六六
不動產	五、五三	五、六四
合計	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇

白日下に暴露された
ソの列車顚覆
極東軍司令部の指令下に
赤色テロの魔手（四）

（一九）七月六日午後九時三十分東部線山市―新林間のレール二本、電信電話全部切斷さる

匪團の列車運行妨害、木橋も破壞せられた

（二〇）七月七日東部線烏吉密河の線路を匪團破壞計畫す

（二一）七月九日東部線水害を利用し匪團襲擊列車襲擊及び電話線切斷を行ふ

（二二）七月十五日午前十一時頃東部線高嶺子―薩拉後子間に於て第九二貨物列車匪賊レール取脫し、貨車一〇機關車顚覆、七月十六日頃より東部線代馬溝地方に思想匪團現はれ線路破壞工作を計畫す、匪團約三百名

（二三）七月十三日午後四時半東部線密蜂―小九站間を進行中の第五一號貨物列車は匪賊の爲めレール取除されて居た爲め機關車一、貨車二十輛脫線

匪團の一齊射擊を受け貨物を全部掠奪、滿兵三名、機關手一名拉致さる

（二四）七月廿五日午前六時三十分東部線サモソール東方地點を進行中のポクラ行き第九二號貨物列車は匪賊レール取除に依り脫線六輛顚覆、線路兩側に潛伏中の匪團は同列車に一齊射擊を浴ひせ、日本軍負傷二名

（二五）七月廿七日正午頃小九站烏吉密河を進行中の第三國際列車は匪賊のレール取脫の爲め手荷物車一、機關車一、郵便車大破、三等車四輛脫線顚覆、露人數名行方不明となる

（二六）七月廿一日午後四時四十分頃サムハラ東方に於て第九二貨物列車は匪團の襲擊を受け機關車一、貨車九輛脫線、滿人兵八名、乘務員二名拉致、九輛中日本軍用車一、二等車一破損

（二七）七月卅一日午前四時五分第九一號貨物列車が高嶺子―六道河子間を進行中レール取脫され貨車九輛脫線顚覆

（二八）八月二日午前六時ハルビン發第九二號貨物列車がサモハラ―葦沙河間を進行中匪賊の爲めレール取脫されてゐた爲め脫線顚覆匪團の來襲あり第十七輛目の爆藥滿載車爆破し全燒、匪賊の破損線路四十五米、尙滿人將校數名拉致さる

（二九）八月五日午前六時頃東部線密蜂―小九站間の鐵路破壞しありたる爲め第五一貨物列車は脫線、匪團の一齊射擊を受く露側乘務員數名行方不明、貨物の一部掠奪さる

（三〇）八月六日午後七時二十分東部線六道河子發第九一號貨物列車が橫道河子東方を進行中線路破壞されてゐた爲め機關車一、貨車六輛脫線顚覆匪團の一齊射擊を受け貨物一部掠奪せらる

（三一）八月十日午前七時東部線高嶺子―六道河子間を進行中の第九二號貨物列車は匪團の襲擊を受けたるも無事

（三二）八月十三日午後十時三十分頃東部線高嶺子―橫道河子中間を進行中の第九二號貨物列車はレール匪賊の爲め破壞されてゐた爲め機關車一、貨車十三輛脫線顚覆、貨物の掠奪を受け露人四名、滿人二名拉致さる

（註）第九二號貨物列車は全部哈市驛發ソ滿東部國境方面向けの軍需品を滿載した日本軍用列車で、列車顚覆と同時に線路兩側に潛伏中の匪賊は列車を目がけて一齊射擊を加へ必ず貨物を掠奪逃走せり

△北鐵西部線列車事故

（三三）一月十七日午後九時三十分チチハル附近で國際列車匪賊に襲擊されたる慘事あり、日本人八名負傷、滿人死傷者十四名、佛蘭西人一名（重傷）ロシヤ人負傷八名、一名卽死

（三四）三月十八日小蒿驛附近で滿洲里行國際列車午後八時十五分頃匪賊に襲擊を受け機關車一、一、二等寢臺一、客車四輛脫線顚覆負傷者二九名（高波將軍が同乘してゐたが幸無事）

右の外南部線（ハルビン、新京間）に於て二回の列車事故あり（完）

拉賓沿線の全貌を一瞥（下）

山家屯は移民適地

山家屯は拉法を北に去る一二四キロ、本線の略々中點に位する人口四千位の街である、拉林河、溪浪河等が、絕へず上流地方から肥土を押流して來るので地味肥沃、耕さずして則ち穰ると云はれる程豐饒な地方である、拉林、溪浪兩河の沿岸地區は、有望な移民地として大いに注目すべき土地だ、東方山地には木材の産出も多い

市街は四周土壁で圍繞され、商店街は案外殷盛であるが、日本人は卅名位で、國際運輸の外、木材業者、特產買出人吉長太陽公司出張所等が主なものである、尙當地は特產背後地楡樹との特殊關係があるので、國際運輸は此の楡樹―山家屯の間にバスを定期に每日運轉してゐる、料金は三圓だが、相當の營業成績をあげてゐる樣だ

前淸の古都五常

五常は昔の歡喜嶺である、一望遮るもの無い曠野を幾日も、蒙古馬の背にゆられ、遙かの地平線に、やつと人煙を見付けた旅人が、歡喜して名付けたものと言傳へられてゐる、光緒七年五常と呼ばれ、縣城を置かれた前淸時代からの由緖深い古都である、今でも滿洲旗人の住む者が多い故か、如何にも雅ひた感じの强い鄕邑である

拉賓線の開通によつて、東部線の一面坡と、南部線の三岔河をつなぐ交通路で、拉賓線の中軸を爲し、將來の發展は大いに期待される現在の商店街は、東西に走る一條だけであるが、舊曆の三の日には賑やかな市が立ち、近鄕近在から着飾つた人出多く、滿洲地方色を出してなかなか雜鬧する、人口は滿洲人が四千、日本人が百名、鮮人が百名位だ

終端驛濱江

濱江驛は、ハルビン郊外秦家崗に新設された驛で、拉賓線の終端驛である、附近は滿鐵、鐵路總局、赤十字病院等が敷地を設定して居るから、ハルビンのセンターともなる可く繁榮の中心は濱江驛方面に移つて來るのではなからうか

沿線の穀倉拉林

拉林は京圖線拉法から一九二キロ、三果樹から七三キロの地點にあり、今回の沿線氾濫の中心である

拉林河流域の廣漠たる沃野は沿線唯一の穀倉とも云ふべく古くから農產物の集散地として重きを爲してゐた

市街は驛の西北方二キロの所にあつて東西、南北共約三滿里、例によつて街全体は土壁を繞らしてある

日本人の居住者は卅名位、滿洲人は五千を突破して居る、日本人の拉林進出者は駐屯軍隊を目當とした御用達、料理店、飲食店の外には國際運輸丈けである、日本娘子軍の活躍振りも目覺ましい

滿人商店街は、城內十字路を中心に相當活氣があり、店舖も拉賓沿線としては却々充實したものも見受けられる

か、日本人は旅館、料理店、カフエー等を營み、其他は軍御用達關係者である

日本側の機關としては鐵道守備隊、憲兵分遣所、滿鐵建設事務所出張所等があり、滿洲側には、五常縣公署、警務局地方財務處、警察署、電話局等がある、日本人經營の旅館は四軒あり、滿洲側妓館と共に日本料理店も相當繁昌して居る

各鐵道開通
滿鐵線との
電報中繼激增

京圖線、拉賓線、賓北線など南滿方面との連絡のため新京鐵道事務所及び管內の連絡の開通に伴つてこれ等諸線と道電報の如きは昭和六年度に信取扱數は激增し、管內の鐵比較して二倍以上の增加を示してゐる

昭和六年五十一萬五百一通、昭和七年八十三萬九千四十三通、昭和八年百六萬二百四十五通

新京驛扱ひは

昭和七年四十萬四千二百二十一通、昭和八年五十九萬二千四百六十五通、約十九萬通の增加で管內總增加數の約八割五分になつてゐる

なほ本年四月から六月までの管內及び新京だけの電報數を月別に昨年と比較すれば次の通り（括弧內は前年同月）

△管內　四月十一萬五千二百四十九通（七萬三千九百四十六通）五月十一萬八千百五十九通（七萬九千四百五十一通）六月十萬五千九百八十二通（七萬三千五百七十二通）七月十一萬九百六十八通（八萬百九十六通）

△新京驛　四月二千五十七通（一千七十通）五月七萬千九百九十二通（四萬二千九百四十二通）六月六萬四千三十九通（四萬四百五十通）

最後の切札八枚
（作合）
□□六八人の合流時代□□
（築上陳上演劇場）

柳　瞭子……峯　吟子
大林梅子……若水絹子
澤　園子……夏川靜江
木下双葉……飯田蝶子
（編輯　大阪映文社）

港の彼女達
峰吟子
作者の言葉

いまの時代は混亂の時代です。この混亂は、おなじ人間達のあひだをさまざまな形式をもつて、最人種のやうにつくり上げて行きます。その最人種たちは、そして、觸りあひ、或は席を同じうしてゐるばかりに、こゝから爭鬪が生れます。

哀れな爭鬪！　悲慘な爭鬪！　醜惡な爭鬪！　さうしてまた滑稽な爭鬪が――かうした無數の爭鬪の中で、どういふ種の人間が、最後の勝利を得るのか、わたしはこの作の中でさうした爭鬪を少しばかり書いてみたと思ひます。

1　アパートの大學生（一）

工藤二郎は大學生である。そして大學內の、或る進歩的團體の、平凡な會員である。だから、彼は住込の家庭教師としてこの資格を、凡ゆる意味から持つてゐなかつた。優良な家庭教師であるためには、第一に、保守的な思想の持主でなければならぬ。次には、單純で朗かな性格であること、それから、起居動作が、時間的に精確であることが、絕對に必要だ。

等々……

ところで、工藤二郎には、さういつた風の資格が、てんで缺けてゐたものである。

そこで、あまりにも突然に、工藤は、彼の居住宅であるところの某省の勅任官の夫人と喧嘩して、二ヶ月前、それまで唯一の收入の道であつた家庭教師の職を失つた。

勿論、仕事の口が容易に見付からう筈はない。それよりも先づ、寢床を見付けなければならぬ。そこで、場末のアパートの三疊を借りた。乏しい財布を、二東三文に叩き賣り、それもたくなると、友人知己の間を宿を渡り步いて、一回の食事にありつくまでは、頑張つて動かなかつた。

彼は、彼の屬してゐる團體の事務所で、ビラを刷り作ら、生活に困らない、それ故に急進的な友人の氣付かない歎息を漏らさなければならなかつた。

工藤は、工面した金で、食パンを買つて、アパートへ歸つて來た。ピアノの鍵を叩く音が人口の右手の、那里子の室から、聞えてくる。

村井那里子は、このアパートの女事務員である。

フン、工藤は、何故ともなく一寸小鼻を鳴らして、ペンキの剝げかゝつた階段の手摺に沿ふてのぼりかけた。

赤色從業員の仕業なら帝國政府斷乎抗議
南部線事件の成行重視さる
廣田外相から訓電

【東京國通】北鐵南部線五家子驛に於る列車顛覆事件に關し外務省に一日正午菱刈駐滿大使より公電があつたが右は單に事件發生の報告に過ぎず未だ時局の狀況、匪賊の背景、裏面に伏在する複雜なる關係等に多大の疑問があるので廣田外相は一日同大使に折返し詳細事情調査方の訓電を發した即ち

外務當局として最も深甚の注意を以て事件の成行を見てゐる所以は今回の事件が從來最も安全な北鐵南部線に發生せること、遭難者に一名のソ聯人なく附近驛員が逃亡せる事實等で事態は列車遭難の頻發する東部線に於る狀況と符合するところあり若し萬一事件の裏面に赤化從業員の陰謀加擔の事實が判明すれば帝國政府としては斷乎抗議の要あり

と爲してゐる、右の如く事件の成行は極めて重大なるものとして各方面より重視されてゐる

人質を連行して匪賊沼澤地を彷徨
討伐軍は一網打盡を期す

【ハルビン國通】南部線の列車襲撃棒事の際匪賊に拉致された閣資源局技師藤澤威雄氏以下日本人五名及びMGM社支配人ヨハンソン及び東京丸の內昭和ビル、リユーリー商會主人リユーリー氏の行方についてはハルビン若山〇團の山本部隊及び第〇〇隊、民政部等協力一日拂曉より行動を開始したが一日午後二時に至り五家子驛西方許家窪棚部落松花江中間の沼澤地帶を人質を連行し彷徨してゐる確證を得たので大活動を開始した尚匪賊は討伐隊の急追を恐れ松花江を突破する虞れがあるので討伐隊は同方面にも嚴重な手配をして一味の一網打盡を期してゐる

海軍辭令

【東京國通】一日附左の如く駐滿海軍部參謀長その他の異動が發令された

駐滿海軍部參謀長 海軍大佐 藤森清一郎
補磐手艦長
軍令部出仕兼海軍省出仕 海軍大佐 太田泰治
補海軍省軍務局第二課長兼海軍技術會議議員
磐手艦長 海軍大佐 原清
補艦政本部出仕
獨逸在勤大使館附武官 海軍大佐 遠藤喜一
補軍令部出仕
海軍省軍務局第二課長兼海軍技術會議議員 海軍大佐 大島乾四郎
補駐滿海軍部參謀長
軍令部出仕兼海軍省出仕 海軍少佐 重永主計
補海軍省副官兼海軍大臣秘書官
海軍省副官兼海軍大臣秘書官 海軍少佐 山本善雄
補軍令部出仕兼海軍省出仕

在ハ米總領事
安藤機關長に米人救出懇請

【ハルビン國通】在ハルビン米總領事アダムス氏は一日安藤特務機關長を訪問して、北鐵南部線の列車棒事の際匪賊に人質として拉致された米國人二名(メトロ映畫會社員ヨハンソン氏及リユーリー氏)の可及的急速な救出に就き極力盡力されたいと懇望するところあつたが、安藤機關長は右に對し日滿軍部當局に移牒して、適切有效の手段を講ずる旨回答した、依つてアダムス領事も滿足の意を表して辭去した

山本〇團長 遭難地へ向ふ

【ハルビン國通】北鐵南部線で匪賊に拉致された、日、滿、米の國際的人質救出のため山本〇團長は部下〇〇名を率ひて一日午前六時ハルビンを出發、遭難現場に急行した

日滿軍事委員 現地へ急行

【ハルビン國通】日滿軍事委員は一日午前九時三十分ハルビン發北鐵南部線に於ける今回の列車大棒事の眞相調査のため現地に急行した

下村外交特派員代理 米總領事館訪問 遺憾の意を表す

【ハルビン國通】北滿外交特派員代理下村事務官は一日米國總領事館にアダムス總領事を訪問して米國人二名が今回匪賊に人質として拉致された件に關し遺憾の意を表して見舞ひ且つ「滿洲國官憲は極力兩名の救出に鋭意努力中である」と述べたに對し米總領事は「好意を諒とする」と述べるところあつた

藤澤氏は 貴院議員利喜太郎氏の息

【ハルビン國通】北鐵南部線で匪賊に拉致された藤澤威雄氏は貴族院議員藤澤利喜太郎氏の令息と判明した

元電通記者も 行方不明

【ハルビン國通】北鐵南部線に於る旅客列車襲撃による其後の消息によれば、日本人の死亡者八名、重輕傷者九名、拉致された者七名、滿人死亡者四名、重傷三名、米國人拉致二名、露人拉致一名、重傷一名、また元電通記者現在メトロ映畫社日本支社松本慶

三氏も行方不明、日本人女子六名は奇蹟的に無事でロイテル特派員レイコック氏は匪賊と格闘の後拉致を免れた、なほ匪賊は武器の外に棍棒、鐵ビアーを所持せる者あり、列車內のビアーを開放した怪露人もあり、過去數ヶ月間に亘り頻々として列車の爆破、顛覆事件を惹き起して來たのは、赤色テロ團の國際的大陰謀の現はれで、一味の所爲により北鐵線上は今や列車地獄の觀を呈してゐる

三土前鐵相の起訴 愈よ確實か?
政治的影響を首相愼重考慮

【東京國通】三土前鐵相の身邊危しなどの流說ある折柄原法相は三十日閣議後岡田首相を訪問取調べの經過に關して詳細報告をなし僞證罪として起訴するに當り上奏御裁可を仰ぐ手續等を協議したが岡田首相は一日事態を重視し午後二時半小原法相を招致し當局側が五回に亘る取調べによつて豫審廷の宣誓をなしたに拘はらず證言事實が認定內容と異る點より僞證罪として起訴可能とする見解に對し國務大臣として贊同輕々しく扱ふことは愼むべしとの見解の下に重要協議をなしたが檢事局の意向に對し首相自身で政治的影響考慮の愼重たる態度をとつて居ることは注目されて居る

司法首腦部 重要協議

【東京國通】中島元商相等に關する瀆職事件に關聯する三土前鐵相の僞證問題に就て一日午前岡田首相に詳細報告した小原法相は午後二時半法相官邸に岩村檢事正、金山次官、木村刑事局長と重要協議を行つたが檢察當局としてはこのまゝでは遺憾ながら三土前鐵相を僞證罪で起訴するほかないが、同氏は三度も臺閣に列した人物であり、かゝる罪で同氏の政治的生命を失墜せしめることは社會風敎上に及ぼす影響も重大であるので一層愼重な態度を取り、同氏の反省を求め然る後最後的決定をなすことに議一決した

在滿機構改革折衷案
各省局課長會議で作成

【東京國通】在滿機構改革問題の急速解決の命をうけた河田書記官長は一日午前金森法制局長官と共に坪上拓務次官を招き大体の折衷意見を示して拓務省の考慮を求めたるに對し拓務側の意見も强硬で各省茲に折衝しても到底解決の見込みなきため河田翰長、金森法制局長官の間だけでこれが解決策を協議した結果在滿機構改革に就いて最も强硬に持說を主張して居るのは三省案の主役者である各省局課長であるからこの局課長を會合せしめ一致點を發見せしめるに決し關係各省に通達五日頃首相官邸に陸、外、拓三省の關係局課長の會議を開き折衷案を作成せしめることになつた

治法撤廢等は靜觀
奉天民會率先決議
近視的策動反對を申合す

【奉天國通】奉天居留民會では一日午後三時半より同會々議室に於て、治外法權撤廢、附屬地行政權返還、課稅問題等に就き各役員三十餘名出席意見を交換したが、劈頭野口會長は之等諸問題は先づ大局に念頭を置き政治的策動或は一小利害關係により盲動することなく冷靜に考慮すべきである、日滿の關係は不可分なることは議定書に明かなる如く、我國の滿洲國獨立の尊重は如何なる犧牲を拂ふも顧みざる固き決心の下に國際聯盟を脫退せるものである、しかるに現地滿洲に於ける邦人はやゝもすれば尙も舊軍閥に對するが如き偏見を有し、滿洲國の現狀を何等顧みることなく徒らに論議するは寒心に堪へざるところで冷靜なる批判を仰ぎ度いと述べたに對し、各役員も右の趣旨を諒とし

一、治外法權撤廢及び附屬地行政權返還は現在論議すべき問題でなく靜觀的態度を持すべきこと

一、課稅問題は正當なる稅率に於ては甘受すべきこと但し稅率查定に關しては民會の意見を尊重する樣當局に具申すること

等を決議して散會した

支那人送還者 七十二名

【東京國通】三十日神戶入港の笠置丸に支那人送還者七百二十二名が乘船してゐるとの報道があつたが右は七十二名の誤りであることが判明した

吉林の邦人 五千に達す

【吉林國通】吉林の居留邦人は八月末現在遂に四千九百八十名、五千に足らざること僅か二十名までに達したが、これは民會屆出數であり、未屆者を合すれば優に五千名は突破してゐる見込みである

顏駐ソ大使 辭任 後任は王正廷氏

【南京一日發國通】駐ソ支那大使顏惠慶氏は病氣を理由に辭表を提出中であつたが今回これを受領され後任は王正廷氏と內定、近く正式に辭令公布される筈である

野依秀一氏 又も恐喝で收容

【東京國通】去る八月廿一日警視廳に召喚取調べを受けてゐる實業の世界、帝都日日新聞、實業通信等の社長たる野依秀一(五〇)に係る恐喝事件は被害者側が後難を恐れてか屆け出が少く取調べ困難を來したが漸く左記の事實だけ判明、野依もこれを認めたので一日午後市ヶ谷刑務所に起訴前の强制收容する事となつた、當局は尙取調べを打切らず被害者側が泣寢入りとなつてゐる恐喝の事實についても更に追及する豫定である現在判明せる分は總額約三萬圓で昭和八年九月から十一月にかけ雜誌實業の世界に臺銀、帝人に關して暴露記事を掲げ帝人取締役永野護氏から金一萬圓を本年一月恐喝、八年六月から七月にかけ實業通信に川崎財閥に關する記事を載せて川崎財閥から一萬二千圓、八年八月實業の世界に兜町の株式取引員某に關する記事を掲げて同氏から二千圓を何れも恐喝したものである

對ポ國新條約
新に交涉開始に決定

【東京國通】ポルトガルは今回日本、ポルトガル通商航海暫定取極め廢棄を通告し來つたが右內容は

一、ポルトガル政府は一九三二年七月二十三日調印の日本、ポルトガル通商航海暫定取極めを一九三四年十一月三十日より施行せしめる

一、ポ政府は目下短期間の通商協定を改正して現時の經濟事情に適應する新協定の締結を希望して居るから本通告も右の趣旨に出たものである

一、從つてポ政府は日本、ポルトガル間の友好關係を維持發展せしめるが爲め現行暫定取極めにも既に豫見せられたる兩國間の通商航海條約締結の爲め速かに商議を開始せんことを提議すると言ふにあるが、現在日本とポルトガル本國との關係に於ては日本は輸入超過であるがポルトガル植民地との關係に於ては日本が輸出超過を示して居るポルトガル政府が最近の歐洲列國の例に倣つて各國と互惠的新通商條約を締結してポルトガルと利益交換を約せる外國に對し特殊の待遇を與へんとする方針を樹立し今回の日ポ暫定取極め廢棄も右方針に依つたものである、尙ポルトガルとは新たに互惠的新通商協定締結の交涉を開始する事となつた

救助船から 第一報

【安東國通】卅一日夜安東發救助に赴ける大東丸より一日午後零時大安汽船會社に左の報告が到着した

七時現場着、大安丸は四番ブイ北西五百米の地點に船首を南東に向け閣坐す干潮時の水深十二尺にして煙突及びブリッヂの一部を水上に現はす、驅逐艦溥は現場を距る二海里の地點に碇泊監視中

尙其後の救助人員は一切不明である

大安號遭難後報
連絡不能で憂慮さる

【安東國通】大安汽船會社事務所は朝來安否を氣遣ふ乘客船員の家族つめかけ雜踏混亂を極めつゝあり、遭難現地へは昨夕救助船を派し又明日は潛水夫を送る手配も成つたが該四番ブイは趙子溝を距る海上二十里の地點にあり、現地趙子溝間は汽船を以て連絡し趙子溝安東間のみ電話によると云ふ連絡方法なるため一日午前十一時迄に何等續報なく事務所員及び押しかけた家族連は憂慮に閉されてゐる驅逐艦溥は一日早朝現地に到着せる筈で滿洲國軍用無線は極力これと連絡に努力し居るも未だ連絡に成功してゐない、なほ唯一の日本人乘客は安東國道建設事務所中野茂氏と判明した

滿洲國辭令

實業部工商司長兼商標局長 孫
兼官を免ず
郵政管理局事務官 愁尾松太郎
依願免官

山口鐵道部次長 來

山口鐵道部次長は(滿鐵)沿線各驛の業務狀態巡視のため一日午後三時六分新京着列車で來京した

工事落札 九月一日

▲國都建設局 陸上競技場觀覽席新築工事
豫算額 二、九九二圓〇〇
開札日 九月一日
落札者 二、九八〇圓〇〇 清水組

▲國都建設局 南嶺淨水池喞筒所增築工事
豫算額 一、一八〇圓〇〇
開札日 九月一日
落札者 一、一一四圓〇〇 宅見工務所

工事豫告(九月一日)

▲市政公署 新京吉林間飲馬河附近木樋築造工事
入札日 九月三日
入札者 松浦組

▲鐵路總局 奉天鐵路局管內鐵術工事

▲鐵路總局 吉林朝陽鎭間四十五ミリ鐵線條新設工事

▲鐵路總局 吉林朝陽鎭間四十ミリ硬銅線二條新設工事

▲鐵路總局 吉林朝陽鎭間通信電線改築工事

明年海軍會議
流產を豫想さる!
各國意見の對立で

【東京國通】ロンドンに於ける海軍々縮豫備交涉は山本五十六少將のロンドン

=到着=

を待ち十一月上旬から日英米三國間の各個別的交涉が開始される順序であるが、帝國政府の新軍縮方針の概貌が、歐米各國に報道されるに及び、來年の海軍本會議の開催が果して實施されるや否や極めて注目すべき成行きを示すに至つた即ち日本はその縮減本式として現存條約の比率主義を排し、替ふるに總噸數主義を原則とする各國一率平等の兵力の最高限界を協定し而もこの縮減方式にのつとつて質的方面にも量的方面にも現在より遙かに徹底した縮減を爲し、英、米等の高度軍備國に對しては相當程度の軍縮を要求するものである而るに英米豫備交涉に現はれた英米兩國政府の軍縮態度は主力艦の質的縮減に於て僅かに三萬二千噸十四吋程度の不徹底極まるものであり、又現行比率固執に對する米國海軍の態度は想像以上に頑强なるものがある更に英國側は輕巡洋艦以下に於ては大陸に於るフランス、イタリー海軍との對抗上現在の對米均等比率を引上げんとする

=主張=

を懷いて居り、各國主張は全く對立狀態であり、早くも流產さへ懸念されて居る

大震災記念日に 關東、中部兩地方地震

【東京國通】大震災十周年記念日たる一日午後八時七分から關東地方全部、中部地方の南東部に亘りかなり地震を感じたが、大震災の恐しさを忘れた今日此頃市民に對し當時を想ひ起させる恰好なタイムリーヒットだ

大連署が調停
大タク爭議解決せん

【大連國通】運轉する身が今日は同僚に運轉されて流石はあざやかな集合振りを見せて商賣得意のスピードを利用し

=市民=

の足を奪つて靜ヶ浦海岸にずらりとならんだ自動車はざつと二百臺、集つた大タク運轉手日、鮮、滿人は約二百六十名會場に充てられた同所脫衣場の要所々々に「正義の爲めだ團結せよ」「生活權擁護の爲めに團結せよ」「正當なる要求の貫徹を期せよ」等のスローガンを掲げ定刻一日午前十一時會議に入るや事こゝに至つた經緯及び六日間に亘つて行はれた勞資間交涉の經過に就き友愛會幹事が立つてこれを說明十名の運轉手が「勇敢なる運轉手の歌」を合唱しあつて大いに氣勢を擧げ午後二時に至つたが、一方調停に乘出した大連署長川保安主任を中心に馬越專務、仙石友愛會長三者鼎座し長川主任をオヴザーバーとして行はれた調停會議より仙石會長が會場に姿を現すや一同拍手を以てこれを迎へ仙石會長は「白紙を以てお委せしたが其の結果は大勝利であることを確信する」と述べるや一同萬歲を叫び

一、僅かにせよ市民の足を奪つたことに就いては一層のサービスを以て市民に謝す

一、爾後一切を幹事に一任する

と決議し將來の團結と結束を申合せて友愛會の萬歲を三唱し午後三時

=散會=

した、斯くて一時は危機を孕み重大化を豫想された大タク爭議も機宜を得たる大連署の調停に依り大事に至らず鎭靜を見るに至つた

江防艦日本陸戰隊員急襲 九名の人質全部を奪還
六十時間を跣足のまゝ連行され 肉は破れ瀕死の重態

江防艦隊の入電によれば江寧、江慶乗組の日本陸戰隊は黒龍江省肇州縣金亮子南方三キロの地點に上陸し匪賊團を包圍急襲し二日午前十一時三十分ごろ日、米の國際的人質を電光石火的に全部奪還した、右人質はさる八月三十日夜北鐵南部線列車襲撃事件で拉致されて以來約百支里をひきづられ六十時間匪賊の人質となつてゐたものである　奪還された人の氏名は左の如くである

内閣資源局事務官藤澤威雄、同技師内田源兵衛、鐵路總局水運局平田鹿次郎、吉林省公署ハルビン駐在員村上國太郎、堺市宅合名會社員宅通貞、大紳土地會社員宮崎謙二、松本啓三、メトロ映畫會社々員ヨハンソン（米人）、リユリー商會主リユリー（米人）

なほ人質に拉致された人々はワイシヤツ、下ズボン一枚跣足の悲慘なる有様で匪賊にひき廻され足は破れ日米人ともに疲勞と睡眠不足で全く瀕死の重態である

滿鐵の川畑氏 匪手から脱出歸還

【ハルビン二日發國通至急】北鐵列車襲撃事件で匪賊に拉致された大連滿鐵埠頭事務所川畑德治氏は匪賊團より脱出し去る三十一日双城堡に歸還した

あす ハルビン着

【ハルビン二日發國通】奪還された日米人質九名は江防艦隊普民に收容、三日午前三時半および同午前五時ハルビンに到着の豫定である

伊藤榮証氏 命拾ひの宴

匪襲を受けた北鐵南部線列車に乘り合せ無事歸京した長春炭坑支配人伊藤榮證氏は一日午後六時から市内吉野町の怡春飯店へ友人知己數十名を招じ命拾ひ祝ひをやつた

愛媛教育視察團員廿名 けふ過京歸國

なほ愛媛縣教育視察團員一行中輕傷者と負傷をうけなかつたもの二十名は二日午後三時二十五分着列車で新京に到着同四時三十分發列車で歸國の途についた

四間房にもペスト 檢疫所を新設

首都警察廳では農安方面のペストにそなへるためさる八月二十日から農安街道水泉寬城子無電台東方に檢疫所を

＝設け＝醫師一名助手二名その他四名を駐在せしめて通行者の身体檢査を嚴重に行つてゐるが二十一日から二十九日までに同所を通行したもの四百七十四人うち農安地方のもの百八十五人でこれらは全部異狀なく一方滿鐵が王家皮舖に檢疫所を設けて北鐵にそうて入京するものゝ檢疫所も今日までには一名の異狀者を發見してゐないが農安地方のペストは依然終熄をみず然るに同地方民で新京方面に來る者のなかには前記二ケ所に檢疫所があり嚴重な身体檢査をされることを知つてこれをのがれるため最近小合隆から四間房を經て入京するものがあり首都警察廳では二十七日から二十九日まで三日間四間房において交通量の

＝調査＝を行つたところ第一日は五十八人、第二日九十一人、第三日四十人の通行者があつたので近く四間房（新京から二〇滿里北方）にも檢疫所を設け萬全を期することゝなつた

聯合艦隊拜觀に 官吏新聞記者六百名赴連
滿洲國政府の肝入り

帝制實施以來最初の滿洲國訪問をなすことになつた末次大將の率ゐる聯合艦隊は愈々近く大連に晴れの港入りを爲すことゝなつたが滿洲國政府では既に之が歡迎に就き諸般の準備を進めて居り、更に當日は一般官民に海軍思想の普及を圖るため官吏新聞記者約六百名を大連に通行、拜觀せしめることゝなつた、尙軍政部に於ても將校其他を拜觀のため大連に赴かしめる筈である

向上塾の卒業生 全部賣切れ
近く第二回の塾生を詮衡

本年四月十五日から千島町七丁目で開塾した向上塾の五名の塾生は修養に餘念なく開塾の本旨に基いた生活を續けて七月から興安大路の修養會館に移轉したが、彼等塾生は來る十月十五日修業豫定であるが修業を前に彼等に幸運が訪れた……黒龍江省總務廳長永井四郎氏が塾生の採用方を依賴したので向上塾では左の通りそれぞれ分配一日午前八時三十分發列車で赴任した

藤川ハルビンへ、田代、小川、望月、チチハルへ、堀吉林へ

なほ同塾では近日中に第二回塾生の詮衡を行ふ豫定

引致されんとして服毒

【大連國通】鹿兒島生れ當時大石橋石橋町居住の某會社員肥木和旭（二八）は同地滿洲館藝妓千榮造事、福岡縣生れ樋口松枝（二六）と旅行に行くと稱して廿八日ハトで來連、遼東ホテルに二泊彼女の元の抱主である逢坂町浮舟に二人して流連、登樓中昨日無斷で抜け出したので浮舟より若狹町交番に捜査願を出し心當り捜査中、連鎖街柳屋アパートに知人あるを聞込み大谷八重子方に二人を發見、引致せんとするや男は突然持合せの青酸加里を嚥込んだので直ちに最寄りの病院で手當を加へ更に誠愛醫院に舁込んだが遂に絶命した、警官が男の服毒を知り應急處置中女も服毒せんとしたので警官が毒藥を奪ひ若狹町交番に留置したが、女の態度は頗る冷淡で最初から心中の意志はなかつたらしく大石橋から情勢で男に引きずられて來たものらしい

東京市電 近く大整理發表

【東京國通】東京市電空前の具体案成り近日中に發表の運びとなつたが今回の整理案は市電の赤字八百萬圓の穴埋めとこれによる將來の禍根を一掃せんとするもので山下電氣局長以下は一大決意を以て決行を期し牛塚市長以下東京市首腦部の同意したるものである、整理案の内容は全從業員大整理案は當局の協議を經て一萬八百名を一旦全部解雇し改めて採用せんとするもので事實上四割の減俸を期し之により八百萬圓を浮ばせんとしてゐるが從業員側では早くも不穩な空氣あり成行注目されてゐる

竹久夢二畫伯

【東京國通】竹久夢二畫伯（本名竹久茂二郎氏）は昨年末以來長野縣富士見野高原に療養中一日午後六時五十分死去した享年五十一歲、氏の纎細な彩筆による美人畫は仙畫伯の追隨を許さぬ妙味をもち夢二作として明治後期の畫壇に異彩を放つて居た事は餘りにも有名である

仙人掌

▲平康里の妓女は昔から檢黴が行はれてゐないので頗る危險な存在だつたが、檢黴をやると逃げ出し土地の繁榮を殺ぐおそれがあるので、日本人を遊ばせないことを條件に稼業鑑札は俳優といふ名目で附屬地に一廓をなしてゐる▲滿洲事變後俄かに活氣を呈して來た平康里の嫖客に日本人が多くなり、昔は白眼視して言葉をかけなかつたのが、日本の流行小唄まで歌つて大に日滿親善ぶりを示してゐる▲結果は下級のところにもぐりこんだものがよくお土産を貰つて歸つて來るらしい▲奉天では愈々檢黴を斷行するといふので既に大きな動揺を來してゐるらしいが萬難を排してもやり遂げると當局は意氣込んでゐる▲こゝもと國都新京より一足お先に御免を蒙つての大英斷だ、昔と違つて日滿當局が心をそろへてやれば必ず成し遂げられる、新京でもやる必要があらう

國防聯合兩婦人會妥協成り 聲明書を發表

國防婦人會設立問題を中心として新京に於ける婦人會は久しきに亘つて内紛を續けてゐたが、今回兩者間に妥協成り從來の聯合婦人會は婦人團體聯盟と改稱創設の趣旨に還元して本來の使命に適進することとなり皇軍慰藉等の事業は國防婦人會に於て行ふことゝなり長い間の紛糾も此處に解決し一日兩婦人會の名を以て左記聲明書を發表した

聲明書

世上には往々在來の婦人聯合會と新生の國防婦人會とが相反目し氷炭相容れざるかの如き疑惑の念を抱くものある様であるが、これは甚しい誤解である、婦人聯合會が事變に直面して成立し主として皇軍感謝並慰藉の事業を通じて各加盟團體協力の實を現はし涙ぐましき活動を續けて今日に至つたことは皇軍將士の感激は勿論のこと其功績に對しては世人も亦均しく推賞せる處である、然し乍ら婦人聯合會結成の趣旨は單に此種事業のみに依つて終始すべきものではなく加盟團體固有の使命遂行に對しても相馳背せざる限り力を盡し又一般社會事業に對しても時に協同の實を發揮して國家のため貢獻を圖るのが目的であるから何日迄も現狀の如く一部事業に沒頭して足れりとする譯には行かぬのみならず會の性質上これを以て恒久的事業とするは適當でない、他に之等の事業を以て本來の使命とする會があれば其會によりて達成せしめるが至當であつて國防婦人會の如きは最も適はしき團體であつたのである、理論としては右の通りであるが、さて從來寢食を忘れて之等の仕事に活動して來た婦人聯合會の幹部側に取りては之を會の手より離すは情に於て忍び得ぬ處もあり、又中には意義ある事業を他に奪はるゝかの如く曲解して反對するものもあり其間多少の紛糾は免れなかつたのであるが、結局大所高所から見て現在國民皆兵の鐵則に基き精神的活動を使命として異常の進展をなしつゝある國防婦人會を我滿洲にも創設し、全日本の婦人が堅く手を握つて外には威容を示し内には益々此種活動を擴大することが適切であると言ふに歸着したので、これに伴ひ一方婦人聯合會に於ても一層自體の意義を明瞭ならしめて創設の趣旨に還元し名も亦實を現はす如く婦人團體聯盟と改め、此處に兩者の關係は極めて明確にせられたのであつて其道程に於て如何にも葛藤に終始せし如く世間で揣摩臆測せられたのは甚だ遺憾である

要するに既往數ケ月に亙る經緯を目して國防婦人會が婦人聯合會を崩壞せしめんとしたと考へるのも盲斷であり、又婦人聯合會が國防婦人會の結成を阻止すべく策動したと見るのも當らぬのであつて婦人聯合會は玆に會本來の使命に還り國防に關聯する一切の活動はこれを最も適はしき國防婦人會に移して相互に反目する所なからしめ、國防婦人會亦其事業遂行に對し婦人團体聯盟との關係を明かにし得て將來の發展上懸念を一掃し局地的には聯盟の一分子として著々自會の結束を固め遺憾なく其使命に適進することが出來ると言ふべきであらう

鮮人勞働者を保護 支那人の入國禁止
一日から朝鮮總督府府令勵行

（京城國通）朝鮮總督府では鮮内勞働事業調査上鮮人勞働者保護の爲九月一日より左の事項に照合せぬ支那人勞働者の入國禁止を斷行するに决したるもの

一、見せ金百圓以上を所持するもの

一、勞働口の確定せるもの以外は入國を禁止した、右につき總督府では左の如き意見を述べた

支那人の入國に就ては從來からも取締り法があつたが從來はさして支那人の入國が朝鮮人勞働市場に影響を及ぼさなかつたのでそのまゝ見逃して居たが最近は年々三千名位の割合で増加して居り現在の鮮内支那人勞働者總數は概算四萬人と稱せられ或はそれ以上に上る情勢となつたので支那人の入國は勞働市場を壓迫することゝなつたので從來の規則を嚴重に適用して之で入國を取締ることゝなつたものである

運動

秋のリーグと ＝六大學の回巡打診＝

【東京國通】野球界も涼風が立つと愈々本格的となつて、秋のリーグ戰開始を目前に控へた東京大學野球聯盟の各校は一齊に練習を開始した

今春のあつけない一本勝負は未曾有の混戰に終始して勝率八割の法政をトツプに早慶が六割立明が四割と何れも紙一重の成績の儘秋を待機する事となつたが、此秋には今春迎へた中學界の鳳雛達も晴れて檜舞臺に颯爽たる勇姿を現はす事が出來從つて各チーム陣容も春以上の充實と潑剌さが期待される然かも本格的な二回戰に一層の興味が增す今各校の練習振りを打診して見ると

慶應の巻

慶應は八月十九日から本格的な練習に入つた御大腰本監督が練習初めの日から病院に入つたので水谷主將が病院から一々指令を受けてやつて居る朝の体操、晝餐の後午後二時頃から三々伍々新田のグラウンドに現はれる、マークのない白のユニフオームには背中に大きなナムバーが書いてある

今春迎へた新人の中心は國方（高松中）岩見（松山商）の二人が光つて居る、三宅、岸本、春日井等の投手團がかたまつて投球に餘念がない碣石山下、岡、中村、土井等と云ふ攻撃の中心もよく當り碣石は二本もライトの柵を越した秋のホープを水谷主將に聞くと

塾は春の者でかためる積りです、長い間散りぢりになつてゐましたが皆張り切つて歸つて來て與れましたので安心してゐます、新人では國方が一番調子が出てゐますが秋に使ふ様な事は先づ無いでせう、櫻井が黄ダンの氣味で休んでゐますがリーグ戰迄には立派に擦る見込です

明石の楠本君がこの練習に參加してゐるのが目立つ、素晴らしい球速である

早稻田の巻

第一軍を夏の初めに滿洲に送つた早大は、大連實業に一敗したのみで、八戰七勝の好成績を收め、去る七月十日門司で解散、選手は歸省休養の上合宿では新人が八月五日から始め、レギユラーは二十日から練習を開始した

然しその間久保田監督が應の監督と決定した廿五日前後迄は午後の練習も名ばかりで、一向張り切らなかつた「選手の合議制」といふ傳統的打破のシステムに改革された事は時代の推移と簡單に葬り去られないものがあり、六十余名の部員を擁する大世帶がこの制度をあくまでも遂行し得るか如何かは頗る疑問で然も稻門倶樂部といふ大きな先輩團の眼が光つてゐる以上、今回の制度變更は單に久保田監督に對する便宜として行はれた様な氣がする、この春入つた中學選手は十二名もあるが、永田（八尾中）村瀬（岐阜商）以外は無名の士である

小林主將が大童で練習の世話を燒いてゐて、存々纒つた練習振りである、久保田氏も廿七日からユニフオーム姿を現はし練習は漸く緊張した、矢張り高須、小島、長野、夫馬等が當つてゐる、フアーストベースに頑張る小林主將を目付け秋のワセダを聞く

色々な事情から秋から我々の合議で試合に臨む事となりました、今日から本練習に入りましたが、だから未だみんな調子が出て居りませんが責任だけはやつて居ますよ、ピツチングもまだ輕くやらせてゐますが若原、阿部が良い樣です、使へさうな新人では丸龜から來た遊撃の白川位なものです、太田が中耳炎で休んでゐる外は皆元氣です兎に角今年はしつかりやらねばなりません

合議制の將來を賭けた秋の成績？主將小林の抱負に我々は期待しよう

秋季競馬 第四日成績

第四日九月一日（土曜日）

第一競馬（三頭）一八〇〇米 (一)飛龍（騎手山本）二分三六秒 揺彩票（單）一等 三圓六〇錢 等外 八圓五〇錢 一圓〇〇錢

第二競馬（九頭）一六〇〇米 (一)新州（騎手落合）二分三三秒 配當（復）(二)玉椿 七圓〇〇錢 (三)雲仙 五圓五〇錢 揺彩票（單）一等 四圓八〇錢 二等 一九圓二〇錢 三等 五七圓三〇錢 等外 一六圓三〇錢 八圓一〇錢

第三競馬（六頭）一八〇〇米 (一)惠愛（騎手落合）二分三〇秒 配當（復）(二)克力 三圓四〇錢 揺彩票（單）一等 七圓二〇錢 二等 二七圓六〇錢 等外 一四圓七〇錢 四五圓五〇錢 一一圓三〇錢 三圓五〇錢

第四競馬（七頭）一六〇〇米 (一)白龍（騎手田中）二分二〇秒 配當（復）(二)久慈 一三圓三〇錢 一九圓五〇錢 揺彩票（單）一等 六二圓四〇錢 二等 六四圓〇〇錢 等外 一六圓〇〇錢 四圓〇〇錢

第五競馬（七頭）一六〇〇米 (一)鷲（騎手原田）二分三十三秒三 配當（復）(二)超驪 四圓〇〇錢 七圓九〇錢 揺彩票（單）一等 四圓八〇錢 二等 一五六圓六〇錢 等外 三九圓一〇錢 九圓七〇錢

第六競馬（二頭）一八〇〇米 (一)夕張（騎手山中）二分三九秒 揺彩票（單）一等 三圓六〇錢 等外 一四〇圓八〇錢 三五圓四〇錢

第七競馬（八頭）一六〇〇米 (一)惠卑（騎手落合）二分二〇秒 配當（復）(二)松島 (三)武藏 四圓二〇錢 三圓五〇錢 揺彩票（單）一等 五圓三〇錢 二等 九圓一〇錢 三等 四四圓八〇錢 等外 一二八圓〇〇錢 六四圓〇〇錢 三三圓〇〇錢

第八競馬（四頭）一六〇〇米 (一)第二奎（騎手山本）二分三九秒 揺彩票（單）一等 一二圓三〇錢 等外 二九圓〇〇錢 二〇圓〇〇錢

第九競馬（八頭）一八〇〇米 (一)羽衣（騎手原田）二分三三秒 配當（復）(二)安東北斗 (三)矢風 四圓七〇錢 七圓一〇錢 四圓九〇錢 揺彩票（單）一等 一二圓三〇錢 二等 一三圓七〇錢 三等 一七五圓三〇錢 等外 六八七圓六〇錢 四三圓八〇錢

第十競馬（四頭）一六〇〇米 (一)第二金幸（騎手城内）二分三五秒 揺彩票（單）一等 三圓九〇錢 等外 三〇圓〇〇錢 二六圓六〇錢

第十一競馬（二頭）二〇〇〇米 本レース、同一馬主ノ馬ノミ付勝馬投票券發賣セズ

第十二競馬（七頭）一八〇〇米 (一)太刀風（騎手白石）二分二〇秒（二）若葉 揺彩票（單）一等 三〇七圓二〇錢 等外 七六圓八〇錢 配當（復） 三圓七〇錢 六圓六〇錢 四圓二〇錢

第十三競馬（七頭）一八〇〇米 (一)惠六（騎手高尾）二分三八秒 揺彩票（單）一等 七七圓四〇錢 二等 二四圓二〇錢 等外 三〇九圓七〇錢 配當（復）(二)白菊 四圓二〇錢 三圓七〇錢 揺彩票（單）一等 四圓三〇錢 二等 三〇七圓二〇錢 七六圓八〇錢

第十四競馬（八頭）一六〇〇米 (一)稻穗（騎手丸山）二分二〇秒四 配當（復）(二)春 (三)千里 八圓一〇錢 三圓四〇錢 揺彩票（單）一等 四圓一〇錢 二等 二一六圓八〇錢 三等 四九一圓九〇錢 等外 一四〇圓五〇錢 七〇圓二〇錢 三五圓一〇錢 等外 一九圓二〇錢

新京放送

三日（月曜）午前之部

時刻	番組
六、〇〇	ラヂオ體操（滿語）
六、二〇	ラヂオ體操（東京より）
六、四〇	滿語講座　講師　高宮盛逸
七、〇〇	日語講座（奉天より）
七、二〇	ニユース（日語）
同	近藤喜助
八、〇五	經濟市況（東京より）
一〇、四〇	經濟市況（東京より）
一〇、五九	時報レコード（滿語）
一一、一〇	ニユース（滿語）
一一、四〇	ニユース經濟市況（東京より）

午後之部

時刻	番組
〇、〇五	經濟市況　ニユース（奉天より）（鮮語）
〇、二〇	演藝レコード（滿語）
〇、三〇	演藝（滿語）
一、〇〇	演　玉珍（滿語）
一、三〇	講演　双玉班（滿語）
二、〇〇	日用品値段（滿語）
二、〇〇	立法院秘書廳　王道教育將來之趨勢　柴光
二、四五	ニユース（日語）
二、五〇	經濟市況ニユース（東京より）
三、一〇	ニユース（日滿語）
三、三〇	經濟市況（奉天より）
三、五〇	ニユース（滿語）
四、〇〇	官廳ニユース（滿語）
四、五〇	ニユース（英語）
五、〇〇	子供の時間（哈爾濱より）
五、三〇	時事解説（滿語）
五、五五	氣象通報、番組豫告（滿語）
六、〇〇	ニユース（東京より）
六、三〇	趣味の話（東京より）
七、〇〇	藝談一週（十一）
七、〇〇	三曲（三元放送）（東京、大阪、名古屋より）
七、二〇	ピアノ獨奏（東京より）
七、四〇	ヴアイオリン獨奏　笠田光吉（大阪より）
	エフゲンクレイン　ピアノ伴奏　荒木和子　奏鳴曲 は短調作品四五　グリーグ作曲　第一樂章　アレグロ、モルト、エ、アツパシオナート　第二樂章　アレグレツト　エスンレツツプオ、アラ、ロマンツア　第三樂章　アレグロ、アニマート
八、〇〇	常磐津（東京より）　常盤津松尾太夫
八、三〇	時報ニユース（東京より）
八、四五	ニユース氣象通報番組豫告
九、〇〇	演　艶春院　鴻會（滿語）
九、三〇	ニユース（滿語）
	浪花節「森の石松」　清水次郎長　獨流星道浪曲講談家元　皇道藝術者會長　田村勝彥　三味線　二見家日出子

新版 江戸八景（其二）行友李風氏原作

一五二 江戸職人と吉原娼妓 一〇

高桑義生

「えつ！」

源助と千吉も驚いて叫んだ。

すると東兵衛は

「なあに、今其處で強盗に出合つたんだが、ほんのちよんぼりかすり傷だ心配する事あねえ」

「で相手はどうしましたか？」

「ウム、俺も一太刀斬附けたが相手のひるむのを見て、そのまゝ逃げて來たから、あとはどうなつたかわからねえ——まあ今ゆつくり話さう、あゝ息が切れた」

東兵衛はせい／＼息を切つて、疲れたようにぐつたりとした體で奥へ入つた。

胸から腕へかけてさつと血が走つてゐる。

行燈の光に照らされた顔は凄いほど蒼かつた。

× × ×

神田駿河臺に住居する五千石取りの旗本志垣田雲守の嫡男源太郎は、この頃毎日一間に閉籠つていうつうつな顔をしてゐた。

庭前の春はすでにたけなはに、春草の上には斷々たる落花、濃紅の櫻の花、濃艶な海棠の花、満ち足りたる春の花——あるかなきかの風に誘はれ落ちた花びらが、踏石の草の上に模様を描いて、それを蝶ふかのように隙が舞うて來る。

晴れた空に囀える小鳥の聲も、源太郎には夢のように聞かれる。

彼にとつては空しい春、淋しい春としか感ぜられなかつた。

そしてきれ／＼の戀の追憶、ありし日の甘い夢を追うてゐる。

源太郎は空虚な眼を庭前に投げてゐた。

その眼の先にあやしいばかり美しい幻影の影か、立ちのぼる陽炎のなかで静かに舞うてゐる。

「（まつしま……松島）」

源太郎は何者かに呼びかけるように斯う呟いた。

そして心のうちで

（さぞ無情を怨んでゐるであらう、無理もない、無理もない、私ほどの意氣地なし、私ほどの弱い男を、何故其方は慕つてくれる。そして愛想もつかさずやさしい文を添へてくれる……濟まない、わかりながら弱い心よ愛想が盡きる。世の中には戀に身を燒く男も女もある、親を捨て、子を捨て。妻を捨てゝ、戀しい女に心中立てした男もある、私にはその人達が羨ましい、何故、はさうした思ひ詰めた心になれないのだらう、松島を思ふ心が淺いからか？ いや／＼けつしてそんなことはない、では何故だ？ 父上がこはいからか？ 世間の口を憚かるからか？ あゝ私は尖張り助若だ、戀にさへ一途になれない弱い男だ）

源太郎の目はひとつ處をはなれない。

思いつやゝかな幻影のてふは、まだ彼の目先に舞うてゐる。

（あゝ——）

と溜息をするとてふそれに驚いたかのやうに、てふはすらりと舞ひあがつた。

そして春光麗かにみなぎる空を飛んで、しづかに濁りを含んだ木立のなかに消えて行つた。

「若樣、若樣——」

「おゝ誰か」

「爻でございます」

斯ういつて腰元の難波がうやうやしく會釋した。

中を見るまでもなく松島から便りである。

「おゝかたじけない、父上は」

者も御存じではあるまいな」

「はい、内緒で受取り、内緒で持つて參りました、ぬかりはござりませぬ」

○……

九星 九月三日 月曜 丁丑 先勝 執 危宿

●一白の人 爭論口舌は絶交の本となる恐れある日注意 甲と丙と丁が吉
●二黒の人 平和に安んずべき日無理の行動は妨げあり 甲と申と寅が吉
●三碧の人 禍は内より起る和合事一に本業を勵むべし 丁と辛と亥か吉
●四緑の人 難關を無理に通らんとすれば破滅を見る日 丙と丁と亥が吉
●五黄の人 志望半ば成りて半ば達し難き日病厄亦注意 巽と丑と寅が吉
●六白の人 進むに急なれば進路遮らる漸進するに吉し 乙と巳と庚が吉
●七赤の人 氣運に異状はなけれども物事に迷ふは不利 庚と幸と丑が吉
●八白の人 意思通りに運ばぬ日移轉開業等差控ゆべし 巳と申と寅が吉
●九紫の人 此日の去就は永久の利害に關す熟慮を要す 壬と癸と丑か吉